

- 問1 1868年、明治新政府は新しい政治の基本方針を天皇が神に誓うという形式で発表しました。この方針の中で、「広く会議を興し、万機公論に決すべし」として世論を尊重することや、「知識を世界に求め、大いに皇基を振起すべし」として開国和親の姿勢を示した文書を何とといいますか。
（2017年 滋賀県公立入試 類似）
1. 王政復古の大号令 2. 版籍奉還 3. 五箇条の御誓文 4. 政体書
-
- 問2 インドにおいて、主要な港湾都市と内陸を結ぶ鉄道が開通した1867年の9年前に起きた、イギリスの支配に不満を持つ人々が起こした大規模な抵抗運動は何ですか。
（2023年 東京都公立入試 類似）
1. アヘン戦争 2. 第一次世界大戦 3. 非暴力・不服従運動 4. インド大反乱（セポイの乱）
-
- 問3 明治政府が行った地租改正について、それまでの年貢（租税）の納め方と比較したとき、その仕組みとして正しい説明はどれですか。
（2021年 茨城県公立入試 類似）
1. 地価の3%にあたる分量の米を、地主が政府に納める仕組み 2. 地価の3%にあたる額の現金を、地主が政府に納める仕組み 3. 収穫量に応じた分量の米を、小作人が政府に納める仕組み 4. 収穫量の3%にあたる額の現金を、小作人が政府に納める仕組み
-
- 問4 明治政府が地租改正において、税の基準を「収穫高」から「地価」へ、納入方法を「米（物納）」から「現金（金納）」へと変更した最大の目的は何ですか。
（2017年 神奈川県公立入試 類似）
1. 作物の豊凶や米価の変動に左右されず、政府が安定した税収を得られるようにするため。 2. 土地の売買を厳しく制限することで、農民が土地を手放して都市へ流出するのを防ぐため。 3. 江戸時代の石高制を維持したまま、農民が自由に農作物を売買できるようにするため。 4. 小作人の税負担を大幅に軽減し、農村における貧富の差を解消するため。
-
- 問5 明治新政府が中央集権国家を確立する過程で行った「版籍奉還」の目的と内容について、正しく説明しているものはどれですか。
（2021年 三重県公立入試 類似）
1. 徴兵令を施行して国民から兵士を集めるために、全国の戸籍を整理し、土地の所有権と地価を確定させること。 2. 将軍から政権を朝廷へ返上させることで、武士による政治を終わらせ、天皇を中心とする新しい政治体制を開始すること。 3. すべての藩を完全に廃止して全国に県を置き、中央政府から官吏を派遣して地方行政を直接支配すること。 4. 藩主から土地と人民の支配権を天皇に返上させることで、旧来の封建的な支配体制を解体し、政府による全国統治の基盤を作ること。
-
- 問6 1869年に実施された「版籍奉還」から、1871年の「廃藩置県」へと改革が進められた主な理由として、最も適切な説明を選択してください。
（2018年 福島県公立入試 類似）
1. 欧米列強との条約改正を有利に進めるために、地方自治の独立性を高めることが求められたから。 2. 版籍奉還では旧藩主が知藩事として引き続き領地を治めていたため、政府による直接的な全国支配が十分だったから。 3. 王政復古の大号令によって江戸幕府の力が完全に消滅し、諸藩の軍事力を統合する必要がなくなったから。 4. 地租改正によって土地の所有権が確定したことで、藩という仕組みを残す必要がなくなったから。
-
- 問7 1876年に日本と朝鮮の間で締結された日朝修好条規において、日本人が朝鮮の貿易港で罪を犯した際、朝鮮側の法律ではなく日本側の官吏が裁判を行うことを認めた権利を何というか、書きなさい。
（2019年 大分県公立入試 類似）
1. 駐留権 2. 関税自主権 3. 領事裁判権 4. 最恵国待遇
-
- 問8 明治新政府が示した方針の第一条には、「広く会議を興し、万機公論に決すべし」という一節があります。この一節が示している、これからの政治のあり方についての説明として最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。
（2021年 福島県公立入試 類似）
1. 幕府が中心となり、有力な藩の意見を調整して政治を行うこと 2. 天皇の直接的な命令のみに基づき、国民に一切の批判を許さない政治を行うこと 3. 身分制度を厳格に維持し、武士階級のみが特権を持って政治を行うこと 4. 公議世論を尊重し、話し合いによって広く意見を取り入れて政治を行うこと
-
- 問9 明治維新後の1871年に文部省が設置され、その翌年の1872年に公布された、6歳以上のすべての男女が小学校教育を受けることを目指した教育制度を何とといいますか。
（2017年 山形県公立入試 類似）
1. 教育勅語 2. 五箇条の御誓文 3. 学制 4. 教育基本法
-
- 問10 明治時代初期、群馬県に設立された官営模範工場では、多くの女性たちが並んで座り、機械を用いて生糸を紡ぐ作業に従事していました。この工場や当時の状況について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
（2022年 福島県公立入試 類似）
1. 全国から集まった士族の娘らが工女として働き、習得した技術を地元を持ち帰って製糸技術の普及に貢献した。 2. 日清戦争の賠償金をもとに建設され、鉄鋼の国産化を実現することで日本の重工業の発展を支えた。 3. 周辺地域で大規模な鉱毒事件が発生し、田中正造がその被害を訴えて議会で政府の責任を追及した。 4. 民間企業が経営し、深夜営業を含む過酷な労働環境によって綿糸の輸出量を飛躍的に増大させた。
-
- 問11 19世紀後半の明治維新时期において、木戸孝允らが版籍奉還や廃藩置県を断行した目的として最も適切なものはどれですか。
（2016年 福岡県公立入試 類似）
1. 幕府の権威を回復させ、封建的な社会制度を維持するため 2. 各藩の自治権を強め、地方分権的な政治を進めるため 3. 天皇を中心とした中央集権国家のしくみを整えるため 4. 鎖国体制を強化し、海外文化の流入を制限するため
-
- 問12 16世紀の伝来から江戸時代の禁教令を経て、明治初期まで続いたキリスト教への制限が、1873年に「五榜の掲示」の撤去という形で事実上解禁された理由として、最も適切なものはどれですか。
（2026年 茨城県公立入試 類似）
1. 文明開化が進む中で、欧米諸国から信教の自由を認めないことに対する強い抗議を受けたため 2. キリスト教の布教活動が、日本の近代産業の発展に不可欠であると政府が判断したため 3. 岩倉使節団が欧米の視察から帰国し、キリスト教を国教とすることを決定したため 4. 民衆の間でキリスト教が急速に広まり、政府が取り締まることが不可能になったため
-
- 問13 明治時代初期に、政府が生活様式の西洋化を含む「文明開化」を推進した背景や目的として、最も適切なものはどれか。
（2023年 大阪府公立入試 類似）
1. 江戸時代の封建的な身分制度を復活させ、武士を中心とした社会を再構築するため。 2. 仏教を国教として保護し、日本古来の思想を世界中に広めるため。 3. 外国との貿易を一切禁止し、日本独自の伝統的な産業のみを保護するため。 4. 日本が近代化された国家であることを国際的に示し、欧米諸国との不平等条約の改正を目指すため。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 五箇条の御誓文	明治新政府が発足してまもない時期に、国民や諸外国に対して新しい国づくりの方向性を示したものです。江戸時代の閉鎖的な政治を改め、話し合い（公論）によって物事を決定することや、積極的に海外の知識を取り入れて国力を高める（開国）方針が明文化されました。
問2	答え 4 インド大反乱（セポイの乱）	1857年に発生したインド大反乱（セポイの乱）は、イギリスの支配に対する大規模な抵抗運動でした。イギリスはこの反乱を鎮圧した後、東インド会社を解散させてインドを直接支配下に置きました。この反乱の鎮圧から9年後の1867年には、軍事的な統制力の強化と、綿花などの資源輸送の効率化を目的として、主要な鉄道網の開通が実現しました。
問3	答え 2 地価の3%にあたる額の現金を、地主が政府に納める仕組み	明治政府は財政を安定させるため、江戸時代までの「豊作・凶作によって納税額が変動する米による納税」を改め、土地の価格（地価）を基準にすることを決めました。これにより、豊作・凶作にかかわらず、土地を所有する地主が地価の3%（後に2.5%）を現金で納める義務を負うようになりました。納税の義務者が小作人ではなく、地券を交付された地主である点も重要な特徴です。
問4	答え 1 作物の豊凶や米価の変動に左右されず、政府が安定した税收を得られるようにするため。	江戸時代の年貢は収穫高に応じて米で納める仕組みだったため、不作の年や米の価格が下落した年には政府（幕府や藩）の収入が大きく減るという欠点がありました。近代国家を目指す明治政府は、安定した予算を組んで富国強兵や殖産興業を推進する必要があったため、土地の価格を基準に固定の金額を現金で納めさせることで、天候や市場価格に影響されない確実な税收を確保しようとしてしました。
問5	答え 4 藩主から土地と人民の支配権を天皇に返上させることで、旧来の封建的な支配体制を解体し、政府による全国統治の基盤を作ること。	版籍奉還は、土地（版）と人民（籍）を天皇に返還させる政策です。これにより、各藩主はそれまでの「領主」から「知藩事」という公職に任命される形となり、土地と人民が国の管理下にあることを示しました。これはのちの「廃藩置県」による強力な中央集権体制確立のための重要なステップとなりました。
問6	答え 2 版籍奉還では旧藩主が知藩事として引き続き領地を治めていたため、政府による直接的な全国支配が不十分だったから。	版籍奉還は土地（版）と人民（籍）を天皇に返還させるものでしたが、旧藩主が「知藩事」に任命されたため、実質的な統治構造は以前の藩体制と大きく変わりませんでした。政府が全国を一元的に支配し、近代化を加速させるためには、藩そのものを廃止して中央から官吏を派遣する「廃藩置県」が必要不可欠であったという背景があります。
問7	答え 3 領事裁判権	日朝修好条規は、江華島事件を契機に日本が軍事的な圧力をかけて朝鮮に結ばせた不平等条約です。条文の第10款には、日本人が朝鮮で罪を犯した場合に日本の領事が裁判を行う権利が明記されました。これは、かつて幕末に日本が欧米諸国との間で結ばされた不平等条約の内容（治外法権）を、今度は日本が朝鮮に対して一方的に押し付けたことを意味しています。
問8	答え 4 公議世論を尊重し、話し合いによって広く意見を取り入れて政治を行うこと	「広く会議を興し、万機公論に決すべし」とは、一部の人間が独断で政治を行うのではなく、広く人材を求めて会議を開き、公平な議論によって物事を決定しようとする姿勢を示したものです。この方針は、後の自由民権運動において国会の開設を求める理論的根拠の一つにもなりました。
問9	答え 3 学制	明治政府は、欧米諸国に対抗できる近代国家をつくるために、国民全体の知識水準を向上させる必要があると考えました。そこで1872年、フランスの制度を参考に日本初の近代的学校制度の基本法令を定め、身分や性別に関係なく教育を受けさせる「国民皆学」を目指しました。
問10	答え 1 全国から集まった士族の娘らが工女として働き、習得した技術を地元を持ち帰って製糸技術の普及に貢献した。	富岡製糸場は単なる生産施設ではなく、西洋の近代的な製糸技術を全国に広めるための「模範」としての役割を持っていました。そのため、全国から士族の娘などが工女として集められ、彼女たちが技術を習得して故郷に戻ることによって、日本の製糸業全体の近代化が進みました。他の選択肢は、八幡製鉄所や足尾銅山、民間の紡績業に関する記述です。
問11	答え 3 天皇を中心とした中央集権国家のしくみを整えるため	欧米列強に対抗できる近代国家を築くためには、地方の権力を中央政府に集中させる必要がありました。木戸孝允は、土地と人民を天皇に返還させる版籍奉還や、藩を廃止して県を置く廃藩置県を通じて、政府が全国を一体的に統治できる基盤を作りました。
問12	答え 1 文明開化が進む中で、欧米諸国から信教の自由を認めないことに対する強い抗議を受けたため	岩倉使節団が条約改正の交渉で欧米を訪れた際、キリスト教の弾圧が「野蛮な行為」として厳しく非難されました。不平等条約の改正を実現し、文明開化を推進して近代国家として認められるためには、信教の自由を認める姿勢を示す必要があったため、政府は掲示を撤去しました。
問13	答え 4 日本が近代化された国家であることを国際的に示し、欧米諸国との不平等条約の改正を目指すため。	明治政府にとって、欧米列強と対等な外交関係を築くことは急務でした。単に便利な技術を取り入れるだけでなく、思想や教育、生活様式を西洋に合わせることで、日本が文明化された「近代国家」であることをアピールする狙いがありました。